【出前講座】郡山市 芳賀地区防災委員会（令和8年3月6日）

○郡山市　芳賀地区防災委員会において、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況や遊水地整備の効果に関する出前講座を行うとともに、事業内容などについて意見交換を実施。

➢日　時：令和８年３月６日（金）１０：００～１２：００
➢会　場：芳賀地域公民館
➢参加者：郡山市　芳賀地区防災委員会　約80名
➢内　容：講　　座：阿武隈川における水害を軽減させる取組
　　講　　師：福島河川国道事務所　郡山出張所　所長　菊地　功

＜参加者からの質問＞
・河川改修により治水安全度が向上するが、それに伴い洪水ハザードマップの浸水エリアは軽減されるのか。
→（水防法第14条に基づく）洪水ハザードマップは洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るためのものであり、想定最大規模の降雨に対して堤防破堤を前提としてシミュレーションしているため、治水安全度の向上とはリンクしない。
なお、現在、国においては、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階浸水想定図」及び「水害リスクマップ」の更新、「内外水統合型水害リスクマップ」の作成の検討を進めているところである。
・令和元年東日本台風では流域平均２日雨量（福島地点）251㎜とのことだが、具体的に何を表しているのか。
→48時間で流域全体に平均して“降った雨の量”を表している。
・狭窄部を広げる計画はないのか。
→阿武隈川全ての狭窄部で掘削をするには莫大な時間とお金がかかることから、一部の区域を除き実施する計画はない。



▲出前講座の様子